

令和7年度 レギュラトリーサイエンス分野教科担当教員会議 議事録

- 【日時】 令和8年1月30日(土) 13時00分～16時00分
【場所】 岐阜薬科大学第1講義室(岐阜市大学西1-25-4)
【会議形式】 ハイブリッド開催(対面+Zoom配信)
【参加者】 対面15名+オンライン54名、計69名

【プログラム】

テーマ 医薬品の品質と供給—RS教育との関わり

全体の進行: 塚本 桂(岐阜薬科大学)

13:00～13:05 開会挨拶 岐阜薬科大学副学長 五十里 彰

13:05～15:20 講演会

1. 規制当局からの講演

松下俊介 先生(厚生労働省医政局 医薬産業振興・医療情報企画課 セルフケア・セルフメディケーション推進室 セルフケア・セルフメディケーション推進専門官)

2. 産業界からの講演

中山能雄 先生(日本製薬工業協会 薬事委員会、日本イーライリリー株式会社 研究開発・メディカルアフェアーズ統括本部 専門課長)

3. アカデミアからの講演

櫻井信豪 教授(東京理科大薬学部 医薬品等品質・GMP講座)

15:20～15:30 休憩

15:30～15:50 総合討議・教員間意見交換

15:50～16:00 次期開催校紹介・挨拶(明治薬科大学 前田 英紀 先生)、閉会挨拶

【資料】

1. 令和7年度レギュラトリーサイエンス分野教科担当教員会議 共有配布資料
2. 講演1資料
3. 講演2資料
4. 講演3資料
5. 薬剤師のキャリア形成に関するアンケート調査ご協力のお願い(帝京大学・安原先生)
6. 「製薬協のアドボカシー活動について～薬学教育における取り組み～」資料(オンライン共有)

【会議内容】

1. 岐阜薬科大学副学長・五十里彰先生より開会の挨拶があった。

2. 産官学それぞれの立場から、医薬品の安定供給に関して期待される薬剤師の役割と薬学
学部教育における在り方について講演会を開催した（資料 2-4）。
3. 各講演に対して、参加教員からの質疑応答があった。
4. 情報共有として、帝京大学薬学部・安原先生から「薬剤師のキャリア形成に関するアン
ケート調査」への協力依頼があった（資料 5）。
5. 次回開催校・世話人の明治薬科大学・前田英紀教授より挨拶があった。
6. 塚本より閉会挨拶を行った。

【次年度委員長について】

次年度レギュラトリーサイエンス分野教科担当教員会議委員長
明治薬科大学教授 前田英紀氏

（世話人・記録者：岐阜薬科大学 塚本桂）

以上